

2023年度 IR学生調査 学部生全体の集計結果

京都ノートルダム女子大学
2024年7月

【2023年度IR学生調査実施概要】

- 対象者： 学部1年生(一年生調査として実施)
学部2～4年生(上級生調査として実施)
- 実施方法： 調査票(マークシート)を対象者に配付し、回収
- 調査時期： 2023年10月～2024年1月
- 主要調査項目：
学籍番号・プロフィール、授業経験、学習行動、受講態度
正課内外の活動時間、知識・能力の獲得状況
英語運用能力のレベル、大学教育、大学生活に対する満足度
将来イメージ、入学前の学習経験、在学中に経験したいこと

本集計結果には、上記「主要調査項目」より、以下の項目を抜粋して掲載しています。

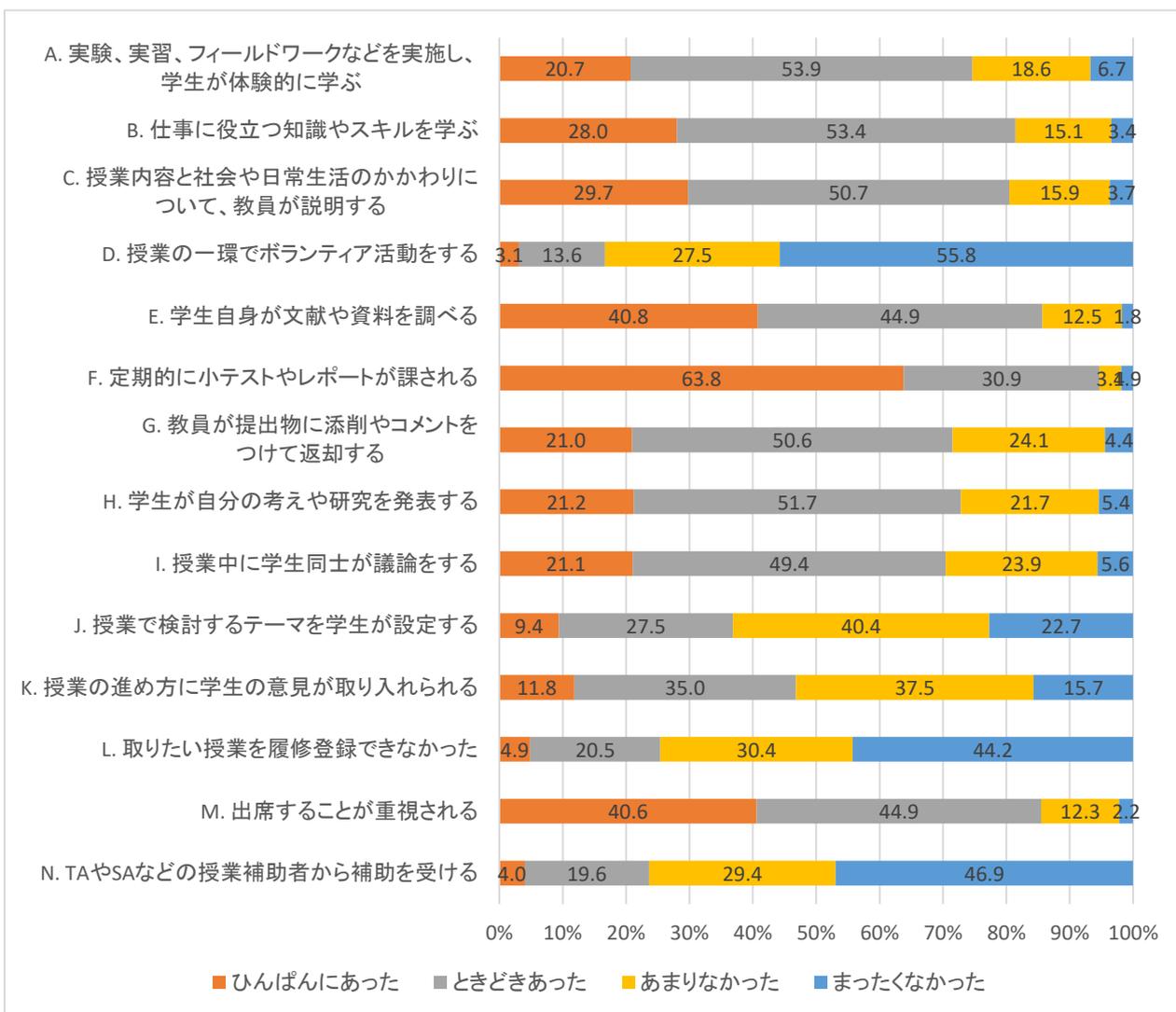
- ・授業経験、学習行動、受講態度(Q1-Q2)
- ・正課内外の活動時間(Q3)
- ・知識・能力の獲得状況(Q4-Q5)
- ・大学教育、大学生活に対する満足度(Q6-Q7)
- ・在学中に経験したいこと(Q8)

なお、調査項目は、「大学IRコンソーシアム」が作成した調査項目を採用しています。

5. 回収状況：

学年	学科	配付数	回収数	回収率
1年	英語英文学科	22	18	81.8%
	国際日本文化学科	18	18	100.0%
	生活環境学科	30	29	96.7%
	心理学科	65	56	86.2%
	こども教育学科	43	36	83.7%
	社会情報課程	14	13	92.9%
	学年合計	192	170	88.5%
2年	英語英文学科	17	12	70.6%
	国際日本文化学科	31	28	90.3%
	生活環境学科	49	48	98.0%
	心理学科	66	51	77.3%
	こども教育学科	38	38	100.0%
	学年合計	201	177	88.1%
3年	英語英文学科	42	28	66.7%
	国際日本文化学科	38	35	92.1%
	生活環境学科	45	43	95.6%
	心理学科	66	57	86.4%
	こども教育学科	49	46	93.9%
	学年合計	240	209	87.1%
4年	英語英文学科	98	61	62.2%
	国際日本文化学科	67	61	91.0%
	福祉生活デザイン学科	71	67	94.4%
	心理学科	104	91	87.5%
	こども教育学科	80	71	88.8%
	学年合計	420	351	83.6%
合計		1,053	907	86.1%
学年・学科不明				
総合計		1,053	907	86.1%

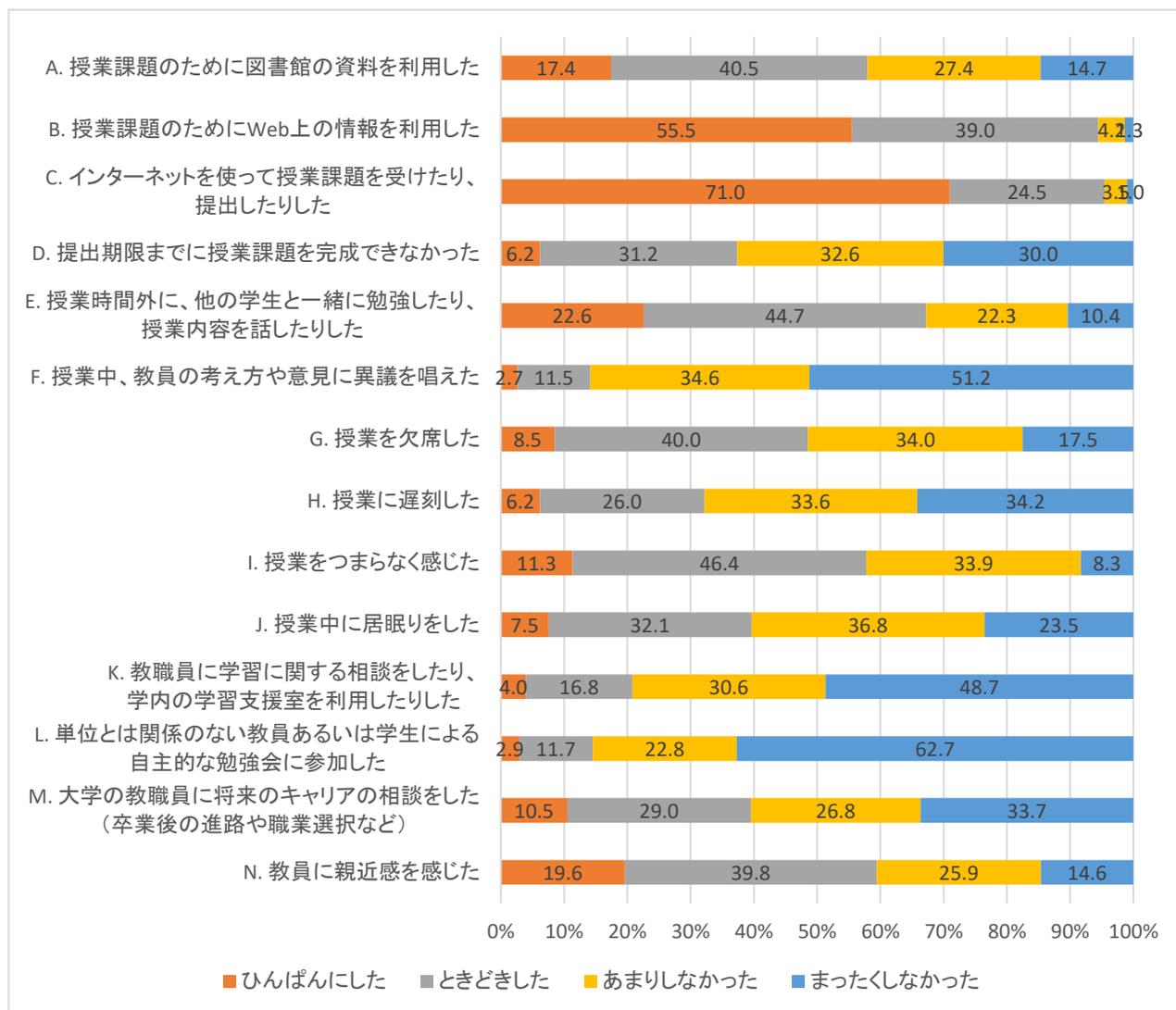
Q1. あなたが受講した大学の授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。
(大学IRコンソーシアム学生調査 設問[4])



(%)

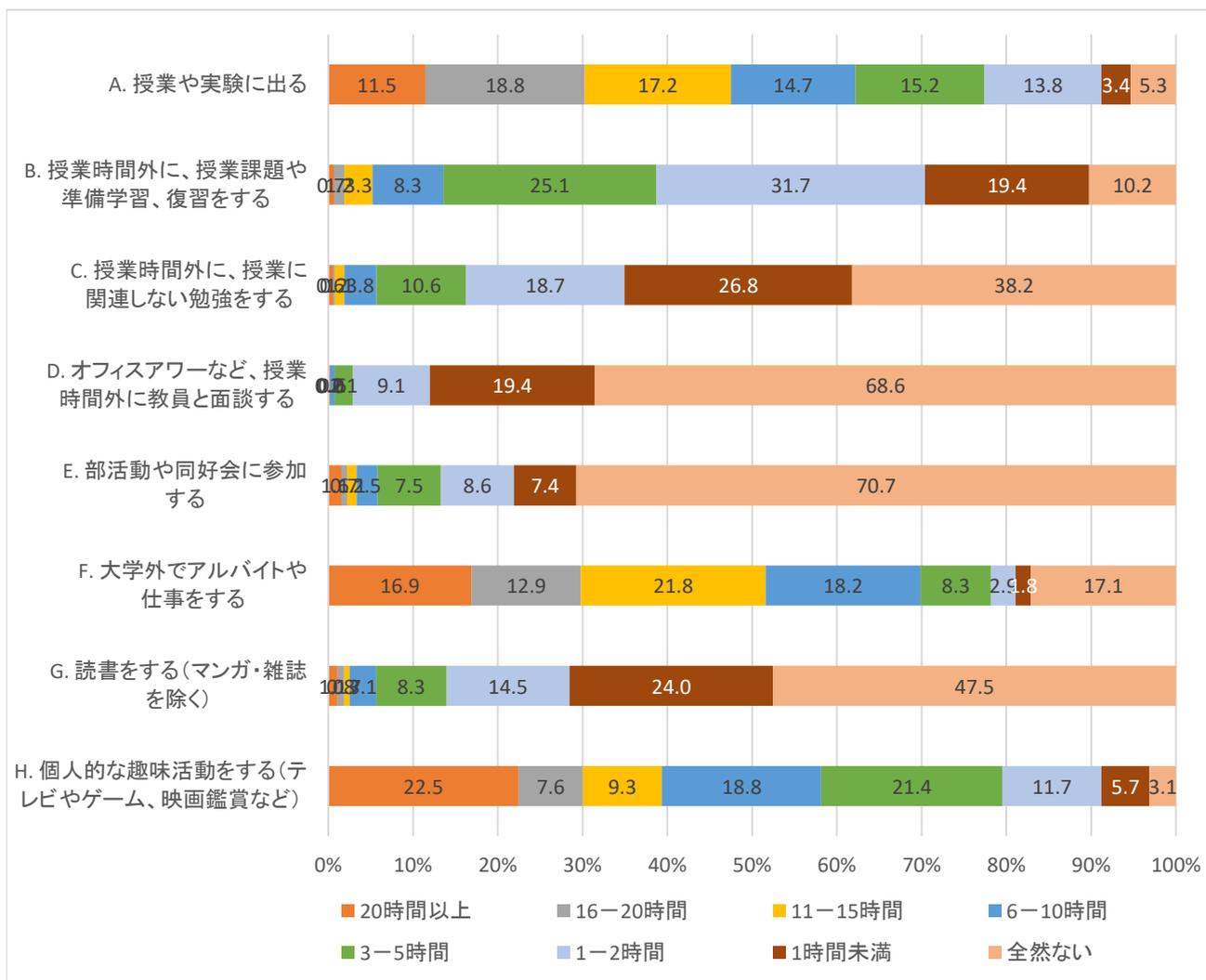
	件数	ひんぱんにあった	ときどきあった	あまりなかった	まったくなかった
A. 実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ	907	20.7	53.9	18.6	6.7
B. 仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ	906	28.0	53.4	15.1	3.4
C. 授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する	901	29.7	50.7	15.9	3.7
D. 授業の一環でボランティア活動をする	904	3.1	13.6	27.5	55.8
E. 学生自身が文献や資料を調べる	895	40.8	44.9	12.5	1.8
F. 定期的以小テストやレポートが課される	904	63.8	30.9	3.4	1.9
G. 教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する	906	21.0	50.6	24.1	4.4
H. 学生が自分の考えや研究を発表する	906	21.2	51.7	21.7	5.4
I. 授業中に学生同士が議論をする	907	21.1	49.4	23.9	5.6
J. 授業で検討するテーマを学生が設定する	903	9.4	27.5	40.4	22.7
K. 授業の進め方に学生の意見が取り入れられる	904	11.8	35.0	37.5	15.7
L. 取りたい授業を履修登録できなかった	902	4.9	20.5	30.4	44.2
M. 出席することが重視される	904	40.6	44.9	12.3	2.2
N. TAやSAなどの授業補助者から補助を受ける	901	4.0	19.6	29.4	46.9

Q2. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。(大学IRコンソーシアム学生調査 設問[5])



	件数	ひんぱんにした (%)	ときどきした (%)	あまりしなかった (%)	まったくしなかった (%)
A. 授業課題のために図書館の資料を利用した	906	17.4	40.5	27.4	14.7
B. 授業課題のためにWeb上の情報を利用した	906	55.5	39.0	4.2	1.3
C. インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした	902	71.0	24.5	3.5	1.0
D. 提出期限までに授業課題を完成できなかった	902	6.2	31.2	32.6	30.0
E. 授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容を話したりした	904	22.6	44.7	22.3	10.4
F. 授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた	904	2.7	11.5	34.6	51.2
G. 授業を欠席した	904	8.5	40.0	34.0	17.5
H. 授業に遅刻した	904	6.2	26.0	33.6	34.2
I. 授業をつまらなく感じた	900	11.3	46.4	33.9	8.3
J. 授業中に居眠りをした	901	7.5	32.1	36.8	23.5
K. 教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした	900	4.0	16.8	30.6	48.7
L. 単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した	901	2.9	11.7	22.8	62.7
M. 大学の教職員に将来のキャリアの相談をした(卒業後の進路や職業選択など)	903	10.5	29.0	26.8	33.7
N. 教員に親近感を感じた	902	19.6	39.8	25.9	14.6

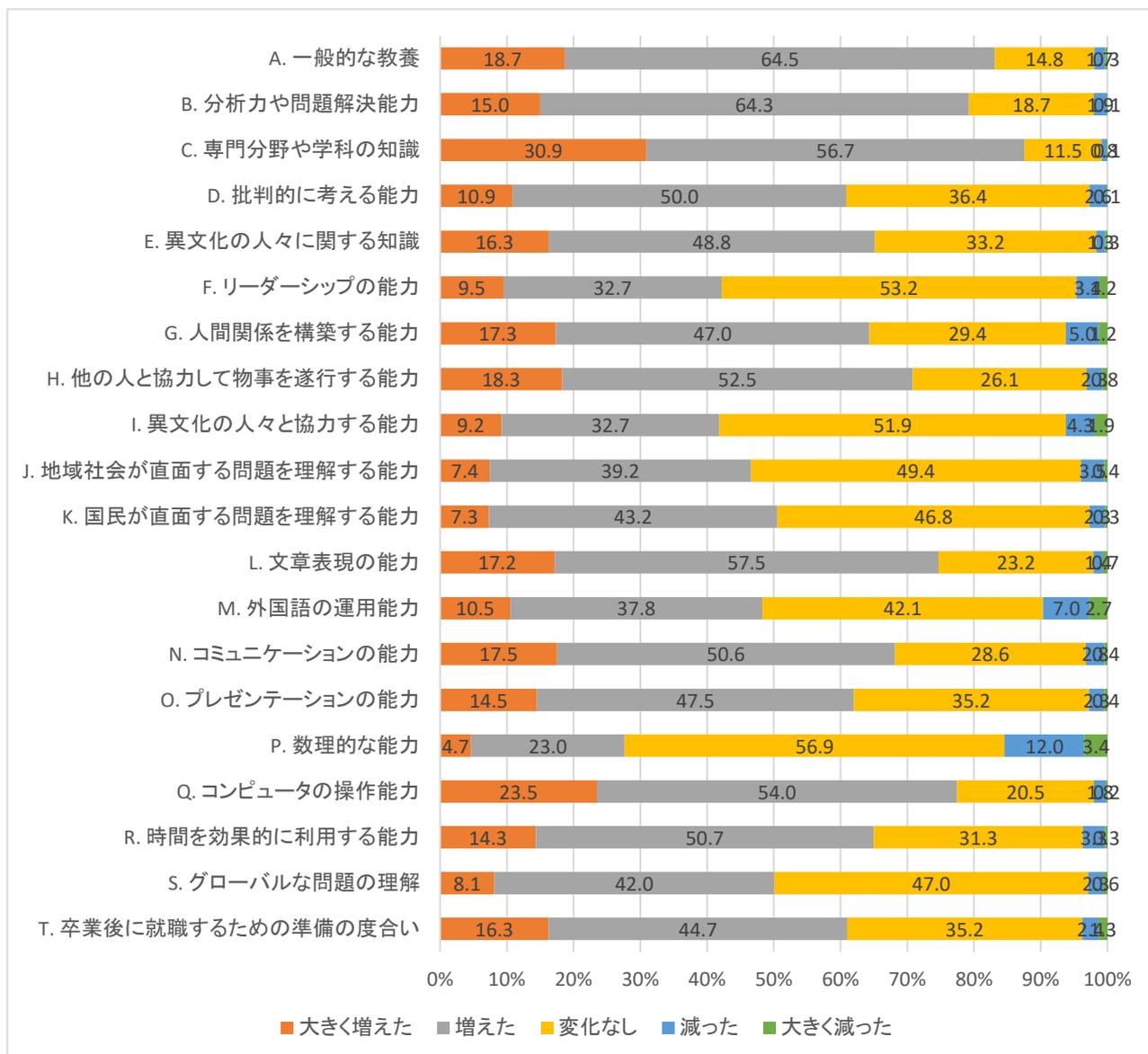
Q3. 今年度になってから、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。
(大学IRコンソーシアム学生調査 設問[6])



(%)

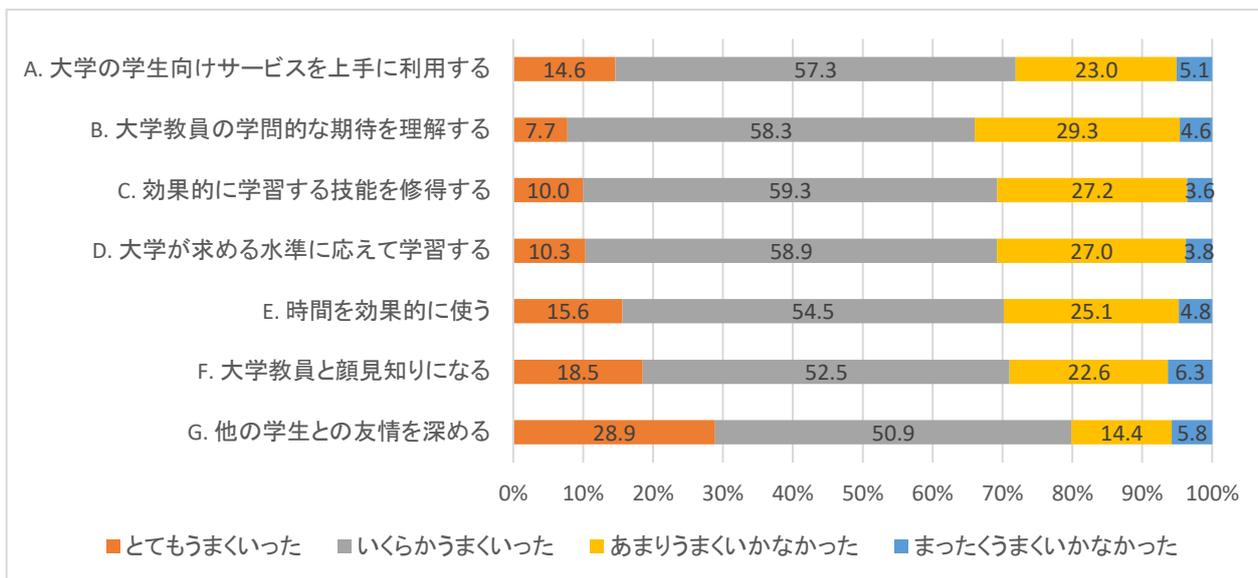
	件数	20時間以上	16-20時間	11-15時間	6-10時間	3-5時間	1-2時間	1時間未満	全然ない
A. 授業や実験に出る	899	11.5	18.8	17.2	14.7	15.2	13.8	3.4	5.3
B. 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする	899	0.7	1.2	3.3	8.3	25.1	31.7	19.4	10.2
C. 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする	898	0.6	0.2	1.1	3.8	10.6	18.7	26.8	38.2
D. オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する	900	0.2	0.0	0.0	0.6	2.1	9.1	19.4	68.6
E. 部活動や同好会に参加する	895	1.6	0.7	1.1	2.5	7.5	8.6	7.4	70.7
F. 大学外でアルバイトや仕事をする	899	16.9	12.9	21.8	18.2	8.3	2.9	1.8	17.1
G. 読書をする(マンガ・雑誌を除く)	903	1.1	0.8	0.7	3.1	8.3	14.5	24.0	47.5
H. 個人的な趣味活動をする(テレビやゲーム、映画鑑賞など)	899	22.5	7.6	9.3	18.8	21.4	11.7	5.7	3.1

Q4. 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。
(大学IRコンソーシアム学生調査 設問[7])



	件数	大きく増えた	増えた	変化なし	減った	大きく減った
A. 一般的な教養	903	18.7	64.5	14.8	1.7	0.3
B. 分析力や問題解決能力	902	15.0	64.3	18.7	1.9	0.1
C. 専門分野や学科の知識	902	30.9	56.7	11.5	0.8	0.1
D. 批判的に考える能力	900	10.9	50.0	36.4	2.6	0.1
E. 異文化の人々に関する知識	901	16.3	48.8	33.2	1.3	0.3
F. リーダーシップの能力	903	9.5	32.7	53.2	3.4	1.2
G. 人間関係を構築する能力	900	17.3	47.0	29.4	5.0	1.2
H. 他の人と協力して物事を遂行する能力	902	18.3	52.5	26.1	2.3	0.8
I. 異文化の人々と協力する能力	903	9.2	32.7	51.9	4.3	1.9
J. 地域社会が直面する問題を理解する能力	903	7.4	39.2	49.4	3.5	0.4
K. 国民が直面する問題を理解する能力	900	7.3	43.2	46.8	2.3	0.3
L. 文章表現の能力	902	17.2	57.5	23.2	1.4	0.7
M. 外国語の運用能力	903	10.5	37.8	42.1	7.0	2.7
N. コミュニケーションの能力	901	17.5	50.6	28.6	2.8	0.4
O. プレゼンテーションの能力	903	14.5	47.5	35.2	2.3	0.4
P. 数理的な能力	903	4.7	23.0	56.9	12.0	3.4
Q. コンピュータの操作能力	902	23.5	54.0	20.5	1.8	0.2
R. 時間を効果的に利用する能力	900	14.3	50.7	31.3	3.3	0.3
S. グローバルな問題の理解	902	8.1	42.0	47.0	2.3	0.6
T. 卒業後に就職するための準備の度合い	903	16.3	44.7	35.2	2.4	1.3

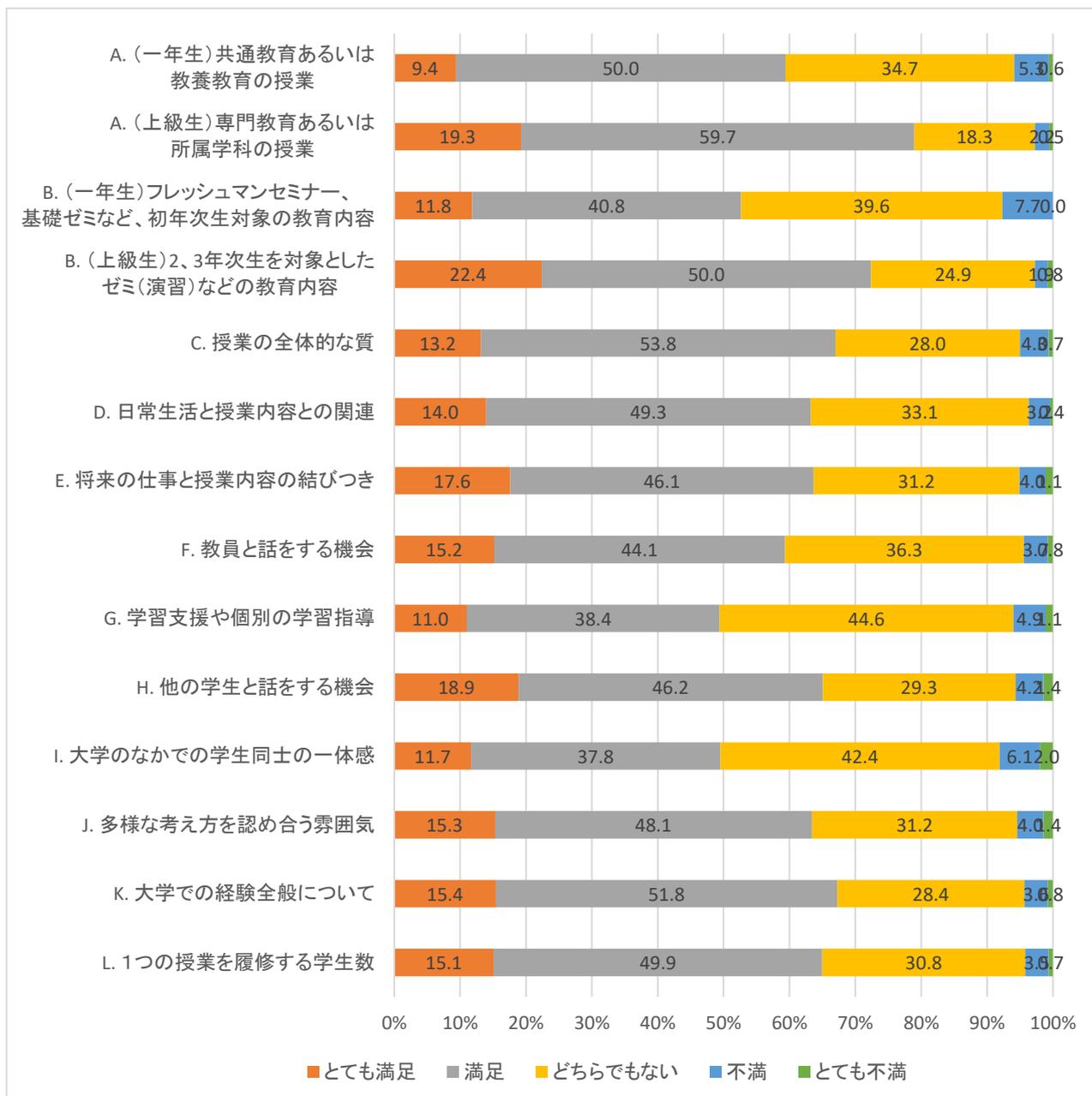
Q5. 本学に入学してから、あなたにとって次のことからはどれくらいうまくいきましたか。
(大学IRコンソーシアム学生調査 設問[10])



(%)

	件数	とてもうまくいった	いづらかうまくいった	あまりうまくいかなかった	まったくうまくいかなかった
A. 大学の学生向けサービスを上手に利用する	904	14.6	57.3	23.0	5.1
B. 大学教員の学問的な期待を理解する	904	7.7	58.3	29.3	4.6
C. 効果的に学習する技能を修得する	901	10.0	59.3	27.2	3.6
D. 大学が求める水準に応じて学習する	900	10.3	58.9	27.0	3.8
E. 時間を効果的に使う	902	15.6	54.5	25.1	4.8
F. 大学教員と顔見知りになる	901	18.5	52.5	22.6	6.3
G. 他の学生との友情を深める	903	28.9	50.9	14.4	5.8

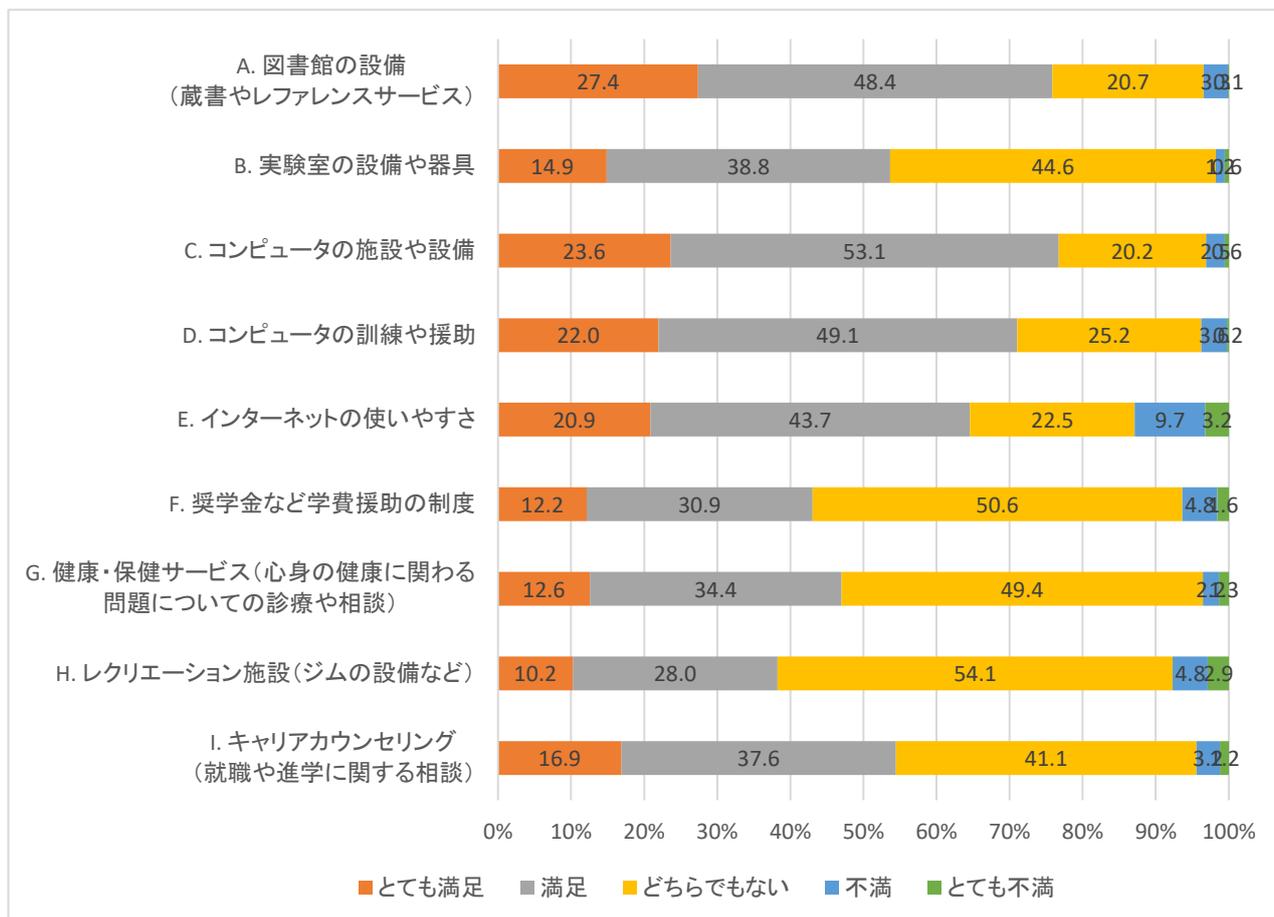
Q6. あなたは、本学の教育内容・環境にどれくらい満足していますか。
(大学IRコンソーシアム学生調査 設問[12])



(%)

	件数	とも満足	満足	どちらでもない	不満	とても不満
A. (一年生)共通教育あるいは教養教育の授業	170	9.4	50.0	34.7	5.3	0.6
A. (上級生)専門教育あるいは所属学科の授業	732	19.3	59.7	18.3	2.2	0.5
B. (一年生)フレッシュマンセミナー、基礎ゼミなど、初年次生対象の教育内容	169	11.8	40.8	39.6	7.7	0.0
B. (上級生)2、3年次生を対象としたゼミ(演習)などの教育内容	732	22.4	50.0	24.9	1.9	0.8
C. 授業の全体的な質	902	13.2	53.8	28.0	4.3	0.7
D. 日常生活と授業内容との関連	903	14.0	49.3	33.1	3.2	0.4
E. 将来の仕事と授業内容の結びつき	903	17.6	46.1	31.2	4.0	1.1
F. 教員と話す機会	902	15.2	44.1	36.3	3.7	0.8
G. 学習支援や個別の学習指導	901	11.0	38.4	44.6	4.9	1.1
H. 他の学生と話す機会	901	18.9	46.2	29.3	4.2	1.4
I. 大学のなかでの学生同士の一体感	901	11.7	37.8	42.4	6.1	2.0
J. 多様な考え方を認め合う雰囲気	902	15.3	48.1	31.2	4.0	1.4
K. 大学での経験全般について	901	15.4	51.8	28.4	3.6	0.8
L. 1つの授業を履修する学生数	902	15.1	49.9	30.8	3.5	0.7

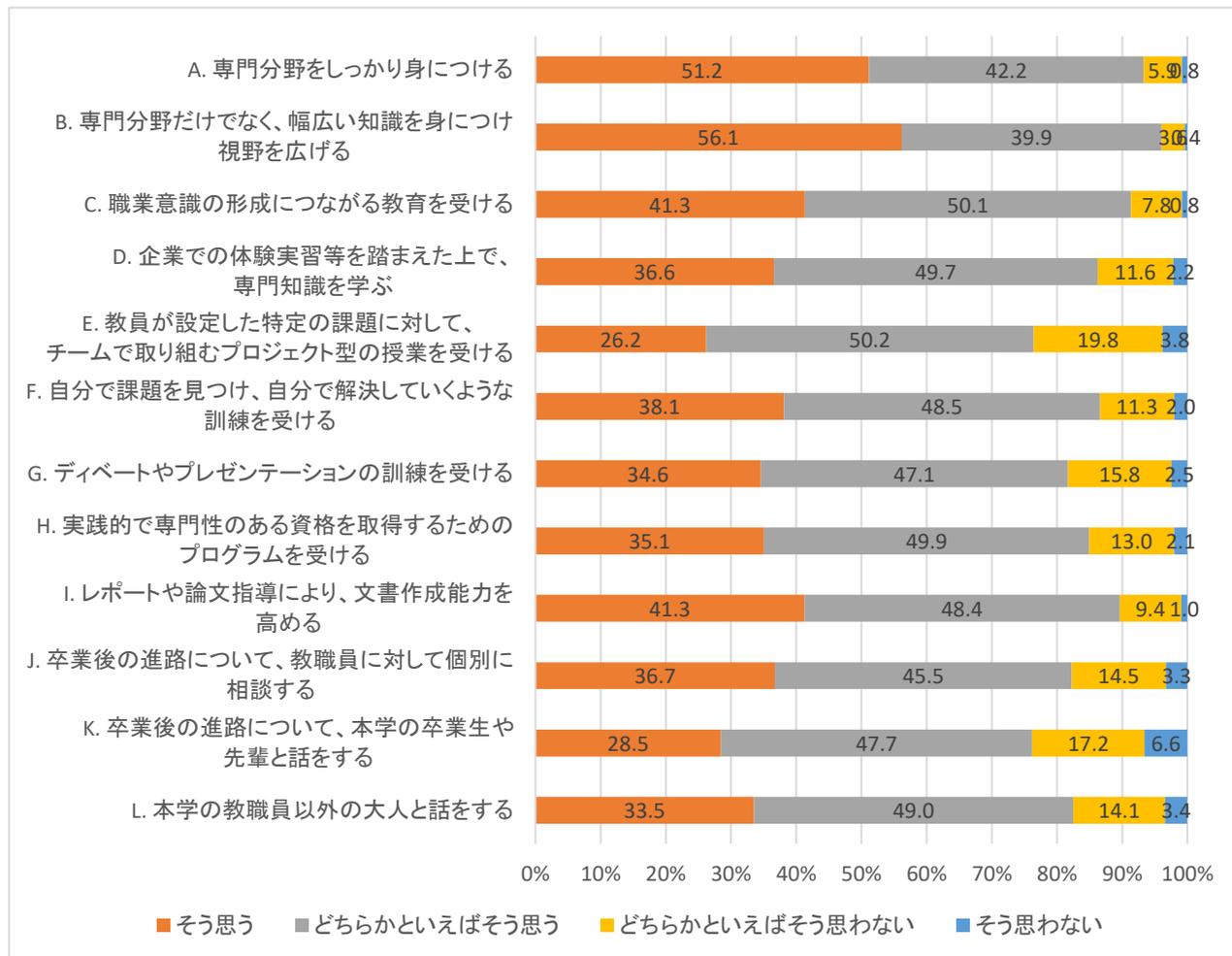
Q7. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどの程度満足していますか。
(大学IRコンソーシアム学生調査 設問[13])



(%)

	件数	とても満足	満足	どちらでもない	不満	とても不満
A. 図書館の設備 (蔵書やレファレンスサービス)	902	27.4	48.4	20.7	3.3	0.1
B. 実験室の設備や器具	900	14.9	38.8	44.6	1.2	0.6
C. コンピュータの施設や設備	902	23.6	53.1	20.2	2.5	0.6
D. コンピュータの訓練や援助	901	22.0	49.1	25.2	3.6	0.2
E. インターネットの使いやすさ	901	20.9	43.7	22.5	9.7	3.2
F. 奨学金など学費援助の制度	897	12.2	30.9	50.6	4.8	1.6
G. 健康・保健サービス(心身の健康に関わる 問題についての診療や相談)	898	12.6	34.4	49.4	2.2	1.3
H. レクリエーション施設(ジムの設備など)	899	10.2	28.0	54.1	4.8	2.9
I. キャリアカウンセリング (就職や進学に関する相談)	900	16.9	37.6	41.1	3.2	1.2

Q8.【2年生以上への設問】あなたが大学(学部)卒業後の進路の準備をしたり考えたりするために、次のようなことがらを大学在学中に経験したいと思いませんか。
(大学IRコンソーシアム学生調査(上級生調査) 設問[16])



	件数	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない
A. 専門分野をしっかり身につける	733	51.2	42.2	5.9	0.8
B. 専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる	732	56.1	39.9	3.6	0.4
C. 職業意識の形成につながる教育を受ける	731	41.3	50.1	7.8	0.8
D. 企業での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ	733	36.6	49.7	11.6	2.2
E. 教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける	733	26.2	50.2	19.8	3.8
F. 自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける	732	38.1	48.5	11.3	2.0
G. ディベートやプレゼンテーションの訓練を受ける	732	34.6	47.1	15.8	2.5
H. 実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける	730	35.1	49.9	13.0	2.1
I. レポートや論文指導により、文書作成能力を高める	732	41.3	48.4	9.4	1.0
J. 卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する	732	36.7	45.5	14.5	3.3
K. 卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする	731	28.5	47.7	17.2	6.6
L. 本学の教職員以外の大人と話をする	731	33.5	49.0	14.1	3.4